

会議の概要

令和 8 年度 玉井小学校・玉井幼稚園学校運営協議会

日 時：令和 8 年 7 月 1 0 日（金） 1 3：1 0～1 6：2 0

場 所：玉井小学校 多目的室・4 の 1 教室・4 の 2 教室・3 の 2 教室

（ 進行 ： 玉井小学校教頭 坪田 美香 ）

1 開会のことば （ おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 浅和 博栄 ）

皆さん、こんにちは。今日は授業参観ということで、お疲れ様でした。只今から令和 8 年度玉井小学校・玉井幼稚園学校運営協議会を進めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

2 教育長あいさつ （ 大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘 ）

皆さん、こんにちは。本日は、令和 8 年度玉井小学校並びに玉井幼稚園の学校運営協議会にお集まりいただきありがとうございます。

玉井小学校の教職員の皆様には先ほどの授業提供はもちろん、また、幼稚園の教職員の皆さんにおかれましても、これまで地域と連携した取り組みを継続してきていただいていることに感謝申し上げます。今年度から運営協議会の開催方法を一部変更しまして、授業参観後すぐに開催するということになりました。本日は 6 年生の代表の皆さんにも参加していただくことになります。また、本日は教育委員の皆様の学校訪問も兼ねており、この熟議にも参加をいただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

「みんなで支え、みんなで育て、みんなが育つ大玉の教育」の実現のために、みんなで考え、話し合う会となりますことを願っております。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

3 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会会長あいさつ

（ おおたま学園コミュニティ・スクール委員会会長 矢吹 吉信 ）

皆さん、改めましてこんにちは。本日はお忙しい中、そしてまた非常に暑い中お集まりをいただきまして本当にありがとうございます。また、本日は 6 年生の皆さんに参加いただくということですが、6 年生の皆さん、緊張してますか？ 緊張せずリラックスして、この後、大人の方とたくさん意見交換してください。

今回は、「大玉村の魅力発信！修学旅行で P R ！」のテーマですが、これから控えております修学旅行でのアイデアがたくさんあるという話を聞いております。大人の方と一緒に話し合って、修学旅行に向けて盛り上げていきたいと考えております。

また、今回の学校運営協議会から早い時間帯に開催することになりました。本日は 6 年生にも参加いただいておりますが、小学校においても大人と子どもが一緒に熟議をすることができるということで、とても楽しみです。皆さんの活発なご意見を期待しております。よろしくお願ひします。

4 検討方法・課題の確認

＜テーマ＞

C S 委員、子どもたち、教職員、それぞれの立場から、改めて大玉村のよさを考え、共通点や相違点を見出すことで、発信したい「大玉村の魅力」を熟議する。

「大玉村の魅力発信！修学旅行でPR！」
～ 大玉村のよさを語り合おう ～

（１）玉井小学校・玉井幼稚園の教育活動・本日のテーマについて

（玉井小学校長・玉井幼稚園長 五十嵐 洋之）

皆さん、こんにちは。園長・校長の五十嵐です。本日はお忙しい中お越しいただきありがとうございます。また、日頃より幼・小の教育活動に対して多方面にわたりご支援を賜りありがとうございます。令和8年度、園児148名、児童297名が元気に教育活動に取り組んでおります。早いもので1学期も残すところ、ちょうど1週間となり、子どもたちは1学期のまとめの活動に意欲的に取り組んでおります。

それでは初めに、玉井幼稚園と玉井小学校の教育活動について説明いたします。要項の10ページ、11ページをご覧ください。玉井幼稚園、玉井小学校の教育目標は共に、「自分やふるさとに誇りをもち、夢や希望に向かう子ども」であります。今年度も、地域の教育支援を効果的に活用しながら、また、子どもたち一人一人のよさを認め、称賛し、価値づける指導を通して、子どもたちの自己肯定感を高め、前向きな意欲を引き出しながら教育活動を進めております。今年度の玉井小学校の漢字である「夢」に近づくことができるよう、また、夢に繋がる目標が達成できるよう、子どもたち一人一人がプラスワンチャレンジの気持ちを持っていろいろな活動にチャレンジできるよう支援しているところです。学校経営の重点事項等につきましては、第1回目のC S委員会で説明しているところですので、詳細につきましては、学校経営・運営ビジョンをご参照ください。

さて、今年度の玉井小学校のグループ協議は児童参加型の熟議となります。そこで今回のテーマは、子どもたちや多世代が話しやすく、子どもたちが日々学習している内容に沿ったテーマである「大玉村の魅力発信！修学旅行で魅力発信！」～大玉村のよさを語り合おう～ としました。玉井小学校では、総合的な学習の時間に「大玉村の人・こと・もの・歴史に自ら関わって学び、世界に つなげよう」をテーマにふるさと学習に取り組んでいます。1学期には直売所の矢吹店長さんを始めスタッフの方々、今井農園の今井さん、民話茶屋の語り部の方々、役場の都市計画課の方々に関わっていただき、それぞれの学年がふるさと学習を進めています。2学期以降も、活動を充実させていきたいと思っております。

このようなふるさとの自然、人、伝統文化、歴史とつながる学習を通して、地域の特徴や個性に気づき、それら多くの方々の工夫や努力によって支えられていることを理解し、ふるさとに対する愛情・誇りを持つことができる児童の育成につなげています。学校評価アンケートでも、子どもたちの「大玉村が好き」という項目は95%以上の肯定的な評価となっています。

今日は、今、子どもたちが感じている大玉村のよさ、そして、ご参加の皆さんが感じているよさを共有し、また、今と昔の移り変わりについても語り合っていただき、子どもたちにとって、そして参加された方々にとって大玉村のよさを再認識する場、ふるさとを見つめ直す場となれば大変嬉しく思います。

また、本日参加している6年生は9月下旬の修学旅行で仙台市を訪れます。その中で、ふるさと学習の一環として、これまでの学びや本日の熟議で感じた大玉村、玉井のよさを発信する活動を実施する予定です。多くの方々の心に響く発信内容や方法などについても話し合っていいただければと思います。そして、話し合いの最後には、大玉村のよさを理解し、情報を発信することにより、「こんな大玉村になったらいいな」という村の未来についても思いをはせていただければいいと思います。

す。また、大玉村には「大いなる田舎」という素晴らしいキャッチフレーズがありますが、本日の熟議で多世代の思いを包括できるようなキャッチフレーズを考えることができればおもしろいと思います。以前教育長から「熟議はお互いの夢や思い、願いを語り合う、所謂雑談の場だ」というお話がありました。今日は肩の力を抜いて、それぞれの立場からふるさとの夢や思い、願いなどを自由に語っていただき、子ども理解、学校理解、地域理解のより一層の深まりにつながることを期待しております。

小学生の皆さん、緊張していますか？大丈夫です。玉井小学校を応援してくださる優しい方ばかりです。これから話す中で「間違い」はありません。ぜひ、今感じている自分の思いや願いを素直に表現してください。そして、最後まで今回の熟議を楽しんでください。

次に担当より話し合いの内容、進め方等について説明いたしますので、趣旨をご理解いただき、ご協力の程よろしくをお願いします。

以上簡単ではございますが、園長・校長のあいさつといたします。

（２）協議の進め方について （玉井小教頭）

① テーマについての協議（４５分間）

- ・グループごとに「大玉村のよさ」を語り合う。（考えを記入した付箋はりながら）
- ・修学旅行で発信したい「大玉村の魅力」についてまとめる。

② 共有の時間（代表の班の発表…１５分間）

６ グループ別協議 ※ 各グループごとに進行



7 グループ別協議内容の共有（グループ別で熟議したことの発表…各教室代表一班）

（進 行）それでは各班で話し合われたことの共有化を図りたいと思いますので、2班から発表をお願いします。

2 班

① それぞれが出した大玉村のよさを種類ごとに分ける

- 豊かな自然がたくさんあること
- 人との関わりが深く安心感があること
- 人との関わりが深く安心感があること
- 民俗芸能の継承とかもあること
- きれいな水がありおいしいお米ができること
- 自慢できる食材があること
- 国際交流ができる村であること
- 住みやすいこと



② これらをどういうふうに発信しようかという ことで出た意見

- 中学校でCM作りの活動をしているとのことなので、子どもたちの動画を映しながら村のよさを伝える。
- ポスターを作って、駅のホームなどに掲示する。また、（修学旅行の時だけでなく）日常的に直売所やプラントに掲示していただいたりするなど、子どもたちの活動を継続してできたらいいのではないか。
- 4年生や5年生もいろいろな交流をしているので、それらの取り組みを生かす。

③ 大玉村のよさを知っていただき、いろいろな方が来てくれるといい。

9 班

① キャッチフレーズは「田舎代表」

② 発信方法

- 写真パネルを作り提示（掲示）する。
 - ・ 子どもたちが撮った写真
 - ・ 村内の他のコンテンツでも使っているもの
- 去年経験した田植踊
 - ・ 狐やひょっとこのお面をかぶり、笛をちょっと吹いてみたりする。田植踊は珍しいものだと思うので、それで一度皆さんの興味関心を引きつけたい。
- 全国的に有名な「ダッシュ村」は実は大玉村ということを知ってもらい、そこからお米のおいしさ、野菜のおいしさ、農業のことについて発信できたらいい。
- 田舎のよさ（＝自然の良さ、地域のつながり）も一緒に発信できたらいい。
- 大玉村は世界遺産のマチュピチュ村とつながっていて（友好都市）、とても魅力的なポイントである。実際にマチュピチュ村に行って農業や消防のことを教えているということなので、それについて発信していけたらいい。
- 10年後にスマートインターができる予定なので、それを使って仙台の方も来てみてくださいなんていうふうなまとめだといいのではないかという話になった。



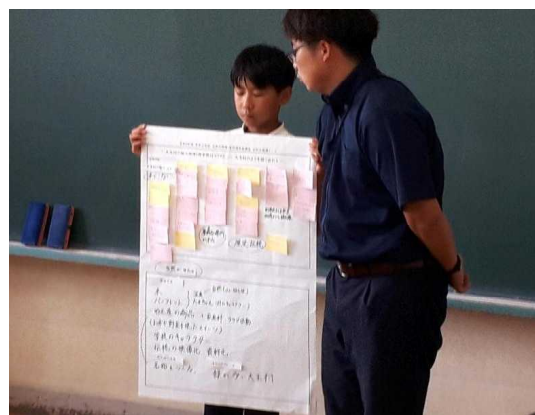
6 班

① 大玉村のよさについて → キャッチフレーズ「緑が多い大玉村」

- 自然が豊かで美しいこと（安達太良山、名倉山 etc.）
- 自然を生かした施設があること（フォレストパーク etc.）
- 米どころであること
- 子どもたちが自由に集まれる施設があること（改善センター etc.）
- 人口が年々増えていること
- 十二神楽、田植踊、また、玉井神社の祭りなど伝統や伝統文化が残っていること
- 古墳が多いこと（こちらの歴史も深い）
- 交通のアクセスが良いこと（今度高速道のインターチェンジもできる）
- 地域の方々が積極的に教育活動に関わってくれること
 - ・ 田植え体験を地域の協力を得て行っている。
 - ・ 2年生が生活科の授業で野菜を育てていた。1週間前にや直売所の店長さんに野菜のことで子どもたちから質問に答えただけのか打診したところ、すぐに来てくれて、充実した授業を行うことができた。etc.

② 発信方法について

- 本やパンフレットを作ってPRする。（大玉村のよさが一目で分かるように、写真を載せたり、村のキャラクターの“たまちゃん”を使ったりするなど、6年生がイメージしたものを作っていく）
- 地元産の商品を作ってみる。（スイーツ等）
- 伝統文化の映像化（5年生の時に踊った田植踊の映像を見せる）



8 講 評

（ おおたま学園コミュニティ・スクール委員会会長 ）

本日は皆さん大変お疲れ様でした。玉井小学校の先生方、玉井幼稚園の先生方、そしてCS委員の皆様、教育委員の皆様、そして6年生の代表の皆さん、本当に今日はありがとうございました。

私も（5班の）熟議に参加させていただきました。特に私の班では、キャッチフレーズを「村」にしました。とても気に入っています。「田舎代表」という班もあったと思うのですが、私は「村」という言葉が大好きで、テーマソングも決まりました。今人気の M!LK というグループの「マジギョングョングン！」を「村ギョングョングン！」と替えて、そしてこうやるんですよ。「好きすぎて滅！」と。これは著作権にひっかかるかも知れませんが……。笑)

これまで各班の話を伺っていて、これは私が全面的に協力しなくてはいけない、直売所として事前に私も（CS委員の皆さんと）仙台に行って、売り場を作ってお米や農作物の販売とかができればと……。

6年担任の斎藤先生や五十嵐先生と打ち合せをして、6年生が思い出に残る修学旅行になるようにしていきたいと思います。今日はそのイメージができましたので、これから打ち合せをしてCS委員の皆様にも仙台に足を運んでいただけるように準備をし、盛り上げていきたいと思います。

本日は皆さん本当にありがとうございました。



9 感想発表（代表児童）

（進行） それでは、素敵なダンスと歌が歌える6年生の皆さんに感想を発表していただきたいと思います。

（6年児童①）僕は大人の方々と同じぐらい意見が言えるか不安でしたが、班の方々が意見を発表しやすい雰囲気になってくれ、発表がたくさんできました。本当にありがとうございました。

（6年児童②）私は大人の皆さんの意見などを聞いたり、宿泊先でのPRについて考えることがとても楽しかったです。今日はありがとうございました。

（6年児童③）みんなと一緒に大玉村の魅力について話、修学旅行について考えられてよかったです。ありがとうございました。

（進行） 各クラスにいる6年生、ここにいる6年生は大玉村の宝です。皆さん拍手をお願いします。

（各会場）・・・大きな拍手・・・

10 御礼のことは

（玉井小校長・幼稚園長）

本日は授業参観、熟議と長時間にわたり玉井幼稚園、玉井小学校の学校運営協議会に参加いただき誠にありがとうございました。

6年生の皆さんに訊いてみようかな。熟議はどうでしたか？楽しかったですか？（たくさん手を挙げてくれて）よく分かりました。難しかったなっていう人は何人いるかな。（少し挙手）自分の意見をしっかり言えたよっていう人？（全員挙手）すごい！

本日の熟議は6年生にとって貴重な経験になったと思います。皆さんは知らないことが多いかもしれませんが、日頃から大玉村ではいろんな大人の人が学校をさらに良くしようと、大玉村を良くしようと熱心に話し合いが持たれています。そういった人たちに感謝の気持ちを持ちながら、9月の修学旅行、そしてこれからの学校生活に生かしてほしいなと思います。貴重な経験をぜひこれからの飛躍に繋げてください。

改めて、本日ご参加いただきました皆様に御礼を申し上げます。今日の熟議ももちろんですが、日頃から大玉村は子どもを真ん中にして教育活動が進められていること、また、地域全体で子どもを育てることが広く浸透していることを実感しております。大変心強く感じております。

本日は、ふるさと大玉村について熟議をしていただきました。子どもが生まれ育った地域に愛着を持つことは、自己肯定感や精神的な安定の基盤になるものだと思っています。ふるさとという自分のルーツ、心のよりどころがある子どもたちはこれから強い。たくましく、そして優しく成長できるものだと思っています。

本日熟議で出された様々なアイディアを生かし、現在行っているふるさと教育をさらに充実させながら、今後も玉井ならではの教育の推進に努めていきたいと思っています。本日は子どもたちに貴重な場をご提供いただき、本当にありがとうございました。引き続き、玉井幼稚園、玉井小学校に変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げ、御礼の挨拶といたします。

本日は誠にありがとうございました。



11 閉会のことは

（おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 館下 愛理）

これで令和8年度、玉井小学校、玉井幼稚園学校運営協議会を終わります。6年生の皆さんも、矢吹会長（店長）が全面的に協力してくれると思いますので、大船に乗った気持ちで修学旅行を楽しんでください。本日はありがとうございました。